

<流水の影響もあります>

10月7日に稚内で初雪が観測され、全国で今年初めての発表となりました。この日は、稚内上空に12月上旬並みの寒気が流れ込み、平年よりも15日早く、また、昨年より18日も早い初雪となりました。ちなみに昨冬は、10月13日に旭川で観測した初雪が全国で最初でした。

流水は、12月の初めシベリア大陸の沿岸で生まれ、約1ヵ月半かけて北海道のオホーツク海沿岸近くまでやってきます。その頃になると沿岸も凍り始め、オホーツク海沿岸は氷に閉ざされるのです。平年の稚内の流水初日（流水が気象台から初めて見えた日）は2月13日です。流水がオホーツク海を最も広く覆うのは3月の中頃で、その面積は北海道の約15倍の広さにもなります。

オホーツク海が流水に覆われると、白い陸地と同じ状態になり、海から立ち昇る水蒸気の量が減って雲が発生しにくくなることや、海が太陽からの熱を吸収しにくくなることなども手伝って、晴れると放射冷却現象が発生し、より気温が下がりやすくなります。

流水域や北海道の内陸には強い冷気による小さな高気圧が発生しやすくなるため、オホーツク海側ばかりでなく、帯広や札幌など各地の冬の寒さが一層厳しくなり、日本海側の雪の降り方など、北海道全体の天候にも影響を与えます。

※問合せ先（月～金曜日） 稚内地方気象台（電話：0162-23-2679）

地域おこし協力隊通信

vol.13

地域おこし協力隊の青柳です。

真冬並みの寒さになりましたが、皆様、風邪などひかれてませんか？

10月16日に、トナカイ牧場で秋の大収穫祭inほろのべが開催されました。

ゲストに井上観光大使を招いての、熱唱ソロライブ、幌延のうまいものバイキング、トナカイとふれあうコーナー、大きな音に驚きのドン菓子体験、幌延名産トナカイ角細工教室、トナカイの散歩体験、秘境駅グッズ販売、抽選会等、盛り沢山の内容でした。

バイキング入場者は101名、その他に交流事業として朱鞠内（幌加内町）と問寒別の小学生と先生、保護者の方々が招かれ、カレー作り体験、缶バッジ製作体験が行われ、役場職員と隊員2名でお手伝いさせて頂きました。

カレー体験は高学年の生徒を中心に、野菜の皮むきやカットを手分けして行い、強風や寒さに負けず元気に楽しく会話しながら続けていました。

途中、風で火が消えてしまうアクシデントの中、予定より少し遅れて柔らかいご飯と美味しいカレーが出来上がり、バイキングと合わせてお楽しみ頂きました。

次回は朱鞠内に訪ねる様なツアーを企画され、さらに交流を深めていけると良いですね。

